

新県立体育館整備事業について

1 これまでの経緯

本県では、2024年に開催予定の第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会を契機として、スポーツ・健康づくりの拠点整備を目指して、老朽化が進み狭隘となった現県立体育館をびわこ文化公園都市内に移設整備することとした。

このため、新県立体育館の施設内容、諸室構成・規模、整備手法等について、関係分野の団体や学識経験者等を委員とした「施設整備検討懇話会」での議論等を踏まえて検討を行い、2017年3月に「新県立体育館施設整備基本計画」を策定して、整備に向けた取組を進めている。

2 整備手法について

「新県立体育館施設整備基本計画」に基づき、県において建設予定地の造成を行った後、施設の建設およびその後の維持管理・運営については、県民サービスの向上や財政支出の軽減・平準化などの効果が期待できるPFI方式により事業を進めることとしている。

3 整備施設について

(1) 基本方針

- ① 「新しい滋賀の魅力をつくる文化・スポーツ戦略」推進の拠点にふさわしい、県民のスポーツ・健康づくり、文化活動の中核施設とする。
- ② 2024年開催の第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会を見据え、全国規模の大会を開催するにふさわしい施設とする。
- ③ すべての人が安全に安心してスポーツや文化の「する」「みる」「支える」に参画することができる、ユニバーサルデザインの考え方に基づく、誰もが使いやすい施設とする。

(2) 施設規模・構成等

① 施設規模

延床面積：14,000㎡程度

②施設構成

- ・メインアリーナ（面積：2,760 m²程度 固定観客席2,500席以上）
- ・サブアリーナ（面積：1,161 m²程度 固定観客席200席以上）
- ・スポーツ活動諸室（多目的室、トレーニング室、スポーツ・体力測定室）
- ・その他諸室（事務室、キッズルーム・授乳室、競技団体交流室 等）

※上記のほか、駐車場（常設・臨時を合わせて900台以上）、多目的広場を整備予定

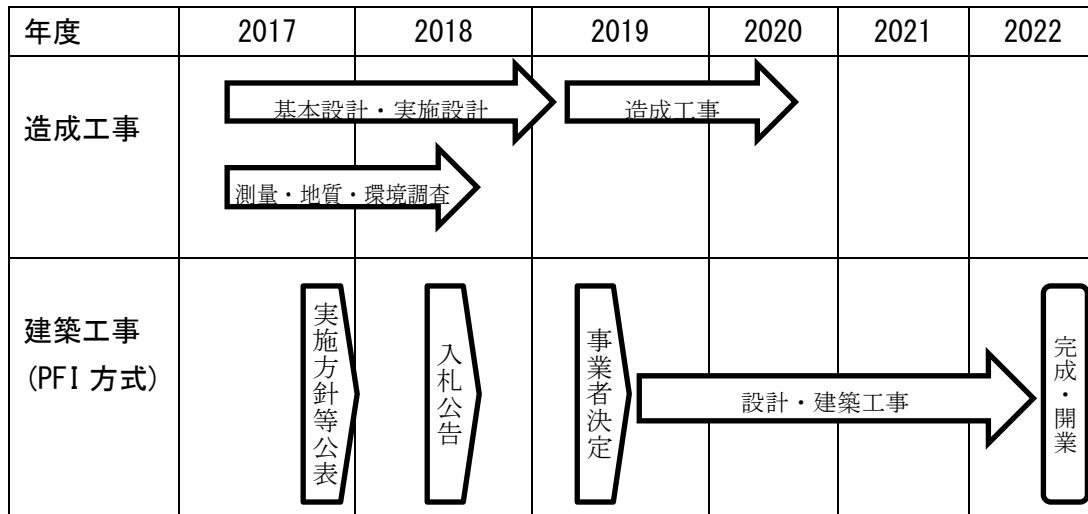
③想定事業費

- ・施設整備費：約9.4億円
 - 基盤造成費 約12.2億円
 - 建設工事費 約74.1億円
 - 初期備品購入費 約2.3億円 等
- ・維持管理運営費：約2.2億円/年（利用料収入：約0.7億円/年）

※PFI方式の採用により上記想定事業費の縮減を図る。

4 整備スケジュール

国体・全国障害者スポーツ大会の円滑な準備と開催に向けて、2022年度中の開業を目指して、整備を進める。



(現時点の進捗状況)

○造成工事

測量・地質等の各種結果を踏まえながら、基本設計のとりまとめを行っている。

○建築工事（PFI方式）

実施方針および業務要求水準書（案）を本年2月に公表すべく、調整している。